

# 茨城県ひたちなか市立田彦小学校（学校長 須田 慎一）

実施日	平成20年1月24日（木）	時間	午前11時～午後3時30分
実施場所	体育館、教室	対象/人数	5年生 172名、6年生 164名
担当教諭	澤島 仁子	ファシリテーター	-
講師	ハルーン（アフガニスタン）、ソブハン（バングラデシュ） アーサン（バングラデシュ）、ドージ（ブータン） ダニエル（グアテマラ）、アルベルト（モザンビーク） オウンモ（ミャンマー）、オリピエ（ルワンダ） モハメド（イエメン） 以上、9名JICA研修員		

## 活動内容

- ・全体会（講師自己紹介、伝言ゲーム、歌）
- ・給食交流
- ・9カ所に分かれて各講師の国の紹介

## 児童の感想

・交流会の前半にバングラデシュのソブハンさんのお話を聞きました。バングラデシュの国旗の周りの緑は、「自然と大地」、真ん中の赤は「太陽」を表していることを初めて知りました。日本の国旗ととても似ていると思いました。後半は、ミャンマーのオウンモさんのお話を聞きました。ミャンマーでは、3月から4月にかけてがお正月で、水をかけて汚れを落としたり、新年のお祭りをしたりするそうです。どんなお祭りなのか見てみたいと思いました。教えてもらったことを家に帰って、お父さん、お母さん、家族全員に話しました。日本と似ているところや全く違うところがあり、外国の文化に興味をもちました。お話を聞いた国以外の国についても、もっともっと調べていきたいと思いました。

## 先生の感想

- ・今回のワールドキャラバンでは9人の講師の方々を迎えて、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。全体会では、それぞれの国の挨拶（ありがとう、こんにちは、さようなら）を伝言ゲームにして、その正解を講師の方々に発音して頂くことで児童も一緒になって発音し、楽しい雰囲気の中で行うことができました。
- ・給食も一緒に食べ、班の中に入った講師の方に英語で自己紹介をしながら、楽しく食べている姿が印象的でした。
- ・交流会では、国旗の意味や国の花、鳥など写真などを持ってきてくださって、分かりやすく説明してくれました。児童も意欲的に参加することができました。

## 成果と課題

- ・今回の活動では、普段なかなかふれあうことのできない外国の方々と接する中で、それぞれの国の文化を学ぶことができました。これまで、保護者や地域の方に外国の話をして頂く活動はありましたが、まだ話を聞いていない国の先生を招くことができ、さらに広い視野をもつことができたと思います。また、本校では、本年度から週1回の英語活動を実施しており、ゲームや歌で普段から英語に慣れ親しんでいます。今回の活動では、自分から英語を積極的に話す場面が見られました。児童も自信をもつことができたと思います。
- ・今後の課題としては、講師の方々と交流会の内容についての打ち合わせをしっかりと行うことです。そうすることで、伝えたい内容を把握してから交流会に臨むことができると思います。

